

報道 各位

全国農業協同組合連合会 栃木県本部

全農 パールライス 株式会社
— 栃木支店 —

(JA 全農とちぎ)

**【開催レポート】全農パールライス(株)栃木支店 保育園でお米の食育イベント開催
園児たちが脱穀・粳摺り・精米体験 「稲穂から白いお米になるまで」を学ぶ**

全国農業協同組合連合会（JA 全農）の子会社である全農パールライス株式会社東日本事業本部栃木支店（以下、全農パールライス栃木支店）では、10月21日(月)、千葉県市川市のミルキーウェイインターナショナルナーサリースクール市川南校で、保育園児向けの食育イベントを開催しました。



全農パールライス栃木支店は、新生食品株式会社様との食育の取り組みが2年目となり、将来を担う子どもたちに「食」の大切さを知ってもらうため、お米への理解を深め、お米を食べることの重要性等を学んでいただく「食育」の取り組みに力を入れています。

保育事業を展開するミルキーウェイ様の9箇所の保育園では、現在、新生食品株式会社様を通じて、給食に無洗米栃木県産コシヒカリをご使用いただいております。

今回のイベントでは約50人の園児たちに「脱穀」「粳摺り」「精米」の3過程を体験していただき、「稲穂の状態から普段食べている精米された白いお米になるまで」を学んでいただきました。

※全国農業協同組合連合会栃木県本部のパールライス事業は2024年7月1日に全農パールライスへ統合しました。統合により、栃木県産米のさらなる販売拡大をめざすと、全国展開する実需者をはじめとした取引先への対応への強化を通じて集荷向上と生産者の所得向上をめざすことに加え、継続して食育のイベントや販促イベントを行い、栃木県産米をはじめとするお米の周知PRに努めてまいります。

●イベントの詳細

日時：2024年10月21日(月) 10:00~12:00

場所：ミルキーウェイインターナショナルナーサリースクール市川南校

実施内容：①オリジナル紙芝居「お米を作る大変さ、お米を食べることの大切さ」の読み聞かせ

②脱穀体験…茶碗を使って稲穂からもみをとる作業

③粳摺り体験…すり鉢に入れたもみを野球ボールで摺りあげる作業

④精米体験…瓶の中に粳摺り後の玄米を入れ、すりこぎ棒で上下につき、精米する作業

※本文章は県庁記者クラブへも投稿しています。

JAグループや行政から同内容の文章が出ている場合がありますが、ご了承ください。

【報道関係者からのお問合せ先】

JA 全農とちぎ 管理部 広報担当：田中

TEL：028-616-8804（代）080-8542-5594（直通）

Mail：tanaka-miu@zennoh.or.jp

● イベントの様子

体験前には、オリジナル紙芝居の読み聞かせを行い、理解を深めていただきました。体験が始まると、園児たちは普段見慣れない稲穂に興味津々の様子で、協力しながら作業を進めました。

**● ミルキーウェイインターナショナルナーサリースクール市川南校 早野 正扇（ハヤノ マサミ）様 コメント**

「園としても、月 1 回何かしらの食育のイベントを行っており、食育には力をいれています。今回のようなイベントは初めてでしたが、子供たちもすごく楽しそうで、みんな集中して取り組んでくれました。このような貴重な体験ができるのは、とてもありがたいので、また是非実施できたらと思います」

● 全農パールライス栃木支店コメント

全農パールライスでは、「①お米をつなげる」「おいしいごはんをみんなのもとに」の想いのもと、主食であるお米を扱う企業として、日本の食文化の伝統を次世代に繋げていくこと。「②お米を広める」お米に関する情報を発信することで、作ることの大切さ・食べることの大切さを伝え、お米の消費拡大を目指すこと。「③お米を楽しむ」食の「安心安全」を追求した企業活動を通して、健やかな食生活を応援し、食の楽しさ・喜びをお届けすること。3つをテーマとして食育を実施しております。子供たちにお米の作る大変さ、お米を食べることの大切さを「もみすり」や「精米」を体験しながら楽しく学んでいただきました。栃木支店として今後も継続的に食育の活動を実施していき、栃木県産米の周知 PR に努めてまいります。

※本文章は県庁記者クラブへも投稿しています。

JAグループや行政から同内容の文章が出ている場合がありますが、ご了承ください。

【報道関係者からのお問合せ先】

JA 全農とちぎ 管理部 広報担当：田中

TEL：028-616-8804（代）080-8542-5594（直通）

Mail：tanaka-miu@zennoh.or.jp